

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～23年度		担当課室	福祉基盤課		定塚 由美子	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅳ－9－1 福祉サービスを支える人材養成、利用者保護等の基盤整備を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則(昭和62年厚生省令第50号)第5条第14号ロ ・社会福祉士介護福祉士学校指定規則(平成20年文部科学省、厚生労働省令第2号)第5条第14号ロ		関係する計画、通知等	・社会福祉士実習指導者講習会及び介護福祉士実習指導者講習会の実施について(平成20年11月11日社援発第1111003号厚生労働省社会・援護局長通知) ・民間社会福祉事業助成費(介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業)補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢化の進行等による国民の福祉・介護ニーズの多様化・高度化に的確に対応できる資質の高い介護福祉士を養成するため、介護施設等で学生の指導に当たる実習指導者に対し、教育カリキュラムの見直しを踏まえた研修を実施し、実習指導者の資質を高め実習教育の高度化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社団法人日本介護福祉士会において、介護施設等で学生の指導に当たる実習指導者に対し、学生があらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術、実践的なコミュニケーション能力、介護課程の具体的展開方法等の実践力を身に付けるための実習指導の理論や実習の方法と展開等の具体的方法等を教授する25時間の研修を実施。 補助率：定額						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	33	27	22	14	
		補正予算					
		繰越し等					
		計	33	27	22	14	
		執行額	33	27	22		
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (毎年度)
	研修修了者数	成果実績	人	4,047	4,746	4,755	⑩ 3,812人 ⑪ 5,160人 ⑫ 4,750人
		達成度	%	106%	92%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研修修了者数	活動実績 (当初見込み)	人	4,047	4,746	4,755 (4,750)	— (2,400)
単位当たりコスト	4,583(円/修了者1人あたり)		算出根拠	22年度予算額 21,793千円 / 22年度修了者数 4,755人			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業費	14	0	平成22年に実施した省内事業仕分けの評決結果を踏まえ、平成23年度限りで国庫補助を廃止することとした。			
	計	14	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	省内事業仕分けの仕分け人から「補助金なしで運営することを目指すべき」との意見
	×	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○平成22年に実施した省内事業仕分けの評決結果を踏まえ、平成23年度限りで国庫補助を廃止することとした。		
予算監視・効率化チームの所見			
	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
○第16回 厚生労働省省内事業仕分け 評決結果 改革案では不十分 5名 事業は継続するが、更なる見直しが必要(実施方法の見直し・補助金の削減など) 5人 改革案は妥当 1人			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
22百万円

【補助】
社団法人
日本介護福祉士会
22百万円

（ 介護福祉士養成実習施設
実習指導者特別研修事業の実施 ）

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.社団法人 日本介護福祉士会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	庁費	通信運搬費(要綱等送料) 借料及び損料(会場借料)等	11			
	諸謝金	講師謝金	9			
	旅費	講師旅費	2			
	計		22	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 日本介護福祉士会	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業の実施	22	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					